



babystep初期メンバー 写真左が筆者

みんなで「次世代」を育てる社会を作ろう。



★こんにちは、babystepです！

わたし達babystepは家族や性の多様性を互いに尊重し、差別や偏見から自由になり楽しく子育てできる社会を目指します。同じく大阪YWCA会員の中村舞さん、栗田明日香さんで設立しました。

★babystepの活動を紹介します。babystepとして関西クイア映画祭さんに寄稿させて頂いたり、ひよこクラブに載せて頂いたり様々な出会いが

＊関西クイア映画祭「クイア」(Queer:変)を切り口に「性」をテーマにした映像作品を上映する映画祭

★babystepの活動を紹介します

き、私のワンオペ育児は、私と夫の問題であると同時に、そもそも社会の問題であると憤りを感じました。仲良しのお二人に愚痴をこぼしたところ、「愚痴だけでは社会は変わらない」と励まされ、「オムツ替えはママだけ!!」署名キャンペーンを立ち上げることにしたのです。4000名を超える賛同を得、おしりふきのパッケージから「お母さんを応援」という記載は削除されました。



男性トイレに設置されたおむつ台

新メンバーを募集しています! babystepでは現在、乳児の育児をはじめ家族などが事前に育児・家事の分担について話し合うためのリーフレット・ベビーナップを作成し、全国の両親学級などで配布できるよう取り組んでいます。「やれる人がやりたい時に」をモットーに、仕事・家事・育児の合間時間を見つけてはオンラインのやりとりで活動しています。ご興味のある方はぜひTwitter @babystep\_repまでご連絡ください!

ぶどうの木 学童のいま 子どものいま 子どものいま 子どものいま



大阪YWCA

11 2020

http://osaka.ywca.or.jp

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

コロナ禍で深刻化する 家庭内暴力について



弁護士 藤井 恭子

2020年4月7日、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、全国で緊急事態宣言が発令されました。宣言発令中は外出自粛や在宅勤務が要請されていたため、多くの人は在宅時間が長くなり、その影響で家族間のストレス・緊張が高まり家庭内暴力(DV)が深刻化するのでは、との懸念が広がっていました。

命の危険を感じる暴力に結びついてもおかしくないほど、家庭内でストレスが高まっていると言えます。また、DVを受けている人からは、国民一人あたり10万円が支給される「特別定額給付金」について、世帯主である夫が家族全員分を申請し、それを妻に渡そうとしない、といった相談も寄せられています。

※ 場合は、内閣府が実施している24時間体制の電話・メール相談やチャット相談など、気軽に利用できる相談ツールもあります。ただ、DV被害者の中には、長期間パートナーから人格否定をされ、自己の尊厳を失ってしまい「自分はDV被害者である」という自覚をすることすらできない人もいます。家族や友人など周囲の人が、本人の言動に違和感を感じた時に、相談ツールにつながることで、解決への道が開けることもあります。

※DV相談+ ふじい きょうこ 0120-1279-1889 https://soundplus.jp/ 立命館大学大学院法務研究科卒 大阪法律事務所在籍中



8月7日(金)、関西地区中高YWCA WebカンファレンスがZoomで行われました。6校(大阪女学院、同志社女子、広島女学院、ブルー学院、平安女学院、ルーテル学院)から中高生62名、顧問12名、日本YWCA・大阪YWCAから13名、合計87名



大阪YWCAからワークに参加するブルー学院のみさん

大阪YWCA女性エンパワメント推進チームで新たに「Rise Up School Visits」(以下、RUSV)という人権教育としての包括的な性教育を考えるプロジェクトチームが立ち上がりました。既に、他の地域YWCAでも同様のプロジェクトが始動しています。大阪YWCAでの第1回目のワークショップのテーマは「パートナーシップを考える」です。

グループによってはコロナ禍でオンラインでのコミュニケーションが増えたことを受け、オンラインとオフラインでどのように気をつける点があるか話し合ったグループもあり、私たちが事前に予想していたよりも皆さんの面

話してくれた様子が伺えます。

グループによってはコロナ禍でオンラインでのコミュニケーションが増えたことを受け、オンラインとオフラインでどのように気をつける点があるか話し合ったグループもあり、私たちが事前に予想していたよりも皆さんの面

話してくれた様子が伺えます。

話してくれた様子が伺えます。

### クリスマスバザー

クリスマスバザーは、感染予防対策に配慮しながら、規模を縮小して実施致します。

日時: 12月5日(土) 10:30~12:30

場所: 大阪YWCA本館

ご来場の際の注意事項

- ・入口で検温・消毒を行います。
- ・マスクを着用の上ご来場ください。
- ・お客様の人数によっては入場制限を行います。
- ・食堂・喫茶コーナーはありません。

ご寄贈品について

- ・ご寄贈品は新品のみ受付けております。
- ・リサイクル衣料は受付できません。

人権教育としての包括的性教育プロジェクト



大阪YWCA女性エンパワメント推進チームで新たに「Rise Up School Visits」(以下、RUSV)という人権教育としての包括的な性教育を考えるプロジェクトチームが立ち上がりました。既に、他の地域YWCAでも同様のプロジェクトが始動しています。大阪YWCAでの第1回目のワークショップのテーマは「パートナーシップを考える」です。

グループによってはコロナ禍でオンラインでのコミュニケーションが増えたことを受け、オンラインとオフラインでどのように気をつける点があるか話し合ったグループもあり、私たちが事前に予想していたよりも皆さんの面

話してくれた様子が伺えます。

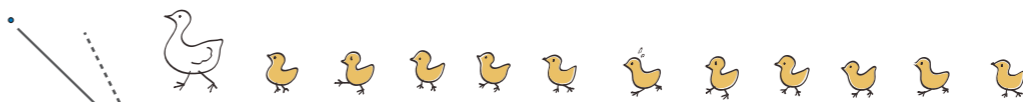
話してくれた様子が伺えます。

話してくれた様子が伺えます。

コロナ禍の今こそ、たいせつにしたい

シャロン千里  
こども館

親子でいきいきリレーションシップ



親子でいきいきリレーションシップは、「からだどこころの出会いの会」の松井洋子先生のもと、親子体操、グループワーク、子どもの遊びを通じて、子育てに悩むお母さん達が共感しあい、つながりを築き、エンパワーされることにより、笑顔で子育てができるようサポートするプログラムです。

コロナ自粛で4ヶ月間休会となり、家には夫がいる、子どももずつといる。報道でもあるように、コロナ禍で虐待や自殺が増えている中、お母さん達にとつてとても過酷な時間となりました。

7月より、グループを2つに分けて密を避けてのプログラム再開となりました。コロナ禍の影響は全員に出ています。夫婦関係が悪化したり、子どもが不登校気味になったり、子どもヘイライラが止まらなかつたり。コロナ禍の今こそ、このプログラムが必要と感じ、自粛中孤独に頑張ってきたお母さん達へのケアをより一層深めました。その傍らには、記録をとりながら涙を流し、子どもたちにも愛情たっぷり関わり、お母さん達を心から応援するボランティアさんの姿もあり



親子体操で、からだも心もほぐします

子どもが言うことを聞かずにイライラしているお母さんに、「そういう時は歌でも作って笑いにしましょう。歌や笑いは、自分も相手も幸せになれます。歌う気にならない時ほどやってみてください。」と松井先生。イライラしている時こそ、笑いに変わる。コロナ禍で人との関係がギクシヤクしている今、子育てに限らず全てに通じる幸せなメッセージです。

今はお母さん達に笑顔が戻ってきました。松井先生の言葉をすぐに実践し、子育てに奮闘しながら成長していく姿がとて眩しく、心から応援したい気持ちでいっぱいです。

(会員 北田 真理子)

わたしのイチオシ! 映画「アイヌモシリ」



北海道の阿寒湖

北海道阿寒湖の集落アイヌコタンで暮らす少年カイト。彼の成長を通して、現代のアイヌ民族のリアルな姿を瑞々しく映し出している。主人公のカイトやその他の主要キャストもアイヌが本人役で出演している。「映画はその作品が作られる事で少しでも社会に良い影響があるんじゃないかと信じられるもの。そういう題材を出来るだけ見つけてやりたい。その鑑賞体験が思いやりを動かすと思う (監督:福永壮志) (編集部)

聖書の言葉  
神に従う人の口は命の源  
神に逆らう者の口は不法を隠す。  
(旧約聖書・箴言10・11)

岐阜県のある合唱団の男性が新型コロナウイルスに感染したというニュースが流れたのは、今年の3月頃だった。その直後おつれあいにも感染が分かり、しばらくしてご夫婦とも相次いで亡くなったとの報に接した。数ヶ月後、ある合唱仲間から、そのご夫婦の家が今は取り壊されて更地になっていること、同居していた娘さんが自殺されたらしい、という胸の痛む話を聞かされた絶句した。誹謗中傷や嫌がらせ等があったであろうことは想像に難くない。

イタリア人の作家パオロ・ジオルダノは、著書「コロナの時代の僕ら」(早川書房)で言う。「恐怖は人に奇妙な振る舞いを取らせる。一中略一今、僕たちが直面している状況では、彼らはどうも言う。「感染症とは僕らのさまざまな関係を侵す病だ」とも。少しの優しさの集まりが、私たちの日頃の関係を決して壊さない力になることを信じていたい。」

(会員 谷川 いづみ)

未来へ— 安心を創る

FUJHI 藤木工務店

大阪本店 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-10  
ニッセイ備後町ビル1階 TEL06-4964-8700

オフィスの移転・改装 / ショップの新装改装

株式会社 オフィスインテリア

国土交通大臣許可 26021号  
建築士事務所(14)第 6554号

大阪オフィス 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 4-1-10  
TEL: 06 (6351) 8830(代)  
FAX: 06 (6351) 8840  
http://www.office-interior.net

東京オフィス 〒135-0023 東京都江東区平野 3-4-1  
藤和テイクコーポ木場公園 101号  
TEL: 03 (5875) 8315  
FAX: 03 (5875) 8316